

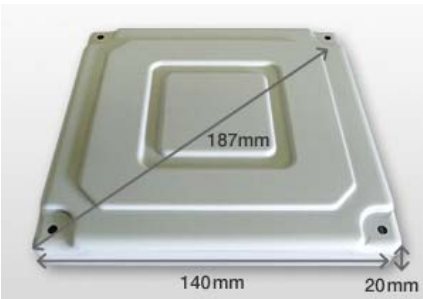


プレス加工コストダウンニュース

材質を問わず、薄く、強く、軽く、板厚も均一に、形状も自由自在に加工できる高度な深絞りの技術を持つ加藤製作所なら、必ず安心・安全な製品づくりのお役に立てます。



高精度の異形角絞り加工にも対応！！



こちらの製品はステアリングカバーに使用する自動車部品です。材質には、特殊めっき鋼板を用いています。製品自体の大きさはあまりありませんが、高い直角度と平面度の幾何公差が求められており、他社ではシワや割れてしまい、加工できないとされていました。当社では、順送プレスによる絞り加工で、写真のような品質の高い製品の提供を実現しました。高品質な量産加工も当社にお任せください。

ワーク名称：ケース 加工方法：絞り加工
業 界：自動車 材質：MSE20/20ZC

深さ220mmの超深絞り加工を実現！



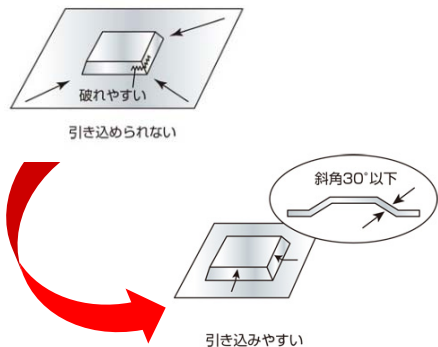
こちらの製品は、当社の独自技術である対向液圧プレスによる角型の深絞り品です。直径以上の深さがある為、板材からの絞り工程において板厚の変化が起こりやすく、割れやシワが発生してしまい、十分な品質の担保が難しいものとなっていました。

そこで、板厚の増加減少を抑えた対向液圧成形法により加工することで、強い張り剛性を実現しました。また、品質面でもしわやショックラインが無く、きれいに仕上がっています。当社では液圧対抗プレスの3号機を導入し、生産キャパも上がっています。お困りの際は、ご相談ください。

ワーク名称：ケース 加工方法：絞り加工
業 界：家電 材質：MSA40E

当社の加工技術・加工領域に関するご紹介

絞り加工における設計のPOINT①



今回は、絞り加工を行う上での設計におけるポイントについて、紹介をします。本ニュースにもありますが、絞り加工のニーズとして良くあるのが大きな製品の一部を絞るというものです。その際、気を付けなければならないのが、**絞りR（口元・底ともに）の大きさを十分に確保し、斜面をできるだけなだらかにする**ということ、**不良品の発生を抑えるポイント**となります。※通常板厚の5倍以上のRが必要）加工品の図面を描く場合には、このような細かいポイントを押さえることがコストダウン・不良削減の近道です。

～今月の一言～

最新ニュース：メッセナゴヤ2017に出展しました！



会期中には約6万人の方々がお来場されていました。

当社は、2017年11月8日～11日に開催されたメッセナゴヤ2017に出展をいたしました。会期中には、東海エリアを中心に約200名を超えるお客様にご来場をいただき、当社の技術に対する要望等をいただくことができました。

今後は、展示会内でお聞きした内容を活かしながら、当社の加工技術を高めていきたいと思っております。

最後に、今回、ご来場をいただいた方々にも本号よりメールマガジンを配信いたします。バックナンバーはWEBサイトに掲載していますので、合わせてご覧ください。

深絞り技術をご紹介します！カバー・タンクなどの設計・製作でお困りの際には、ご相談ください！

株式会社加藤製作所では、プレス加工技術の中でも絞り加工技術を得意とし、タンク・カバー部品などの量産加工に対応しています。対応可能な材質は、鉄系の材料はもちろん、ステンレス・アルミ・チタン・ハステロイ等、様々です。技術ニュース内でご紹介をした以外にも、これまでに製作してきた事例などを絞り加工.comに随時更新してまいります。量産品の設計される際に、考えて頂きたいプレス加工におけるポイントなども掲載しています。ご不明点や知りたい情報がありましたら、お気軽にご相談ください！

絞り加工、プレス絞り加工、絞り、深絞り

しぼりかこうドットコム
絞り加工.COM

複雑な形状の深絞り加工 加工の難しい材質の深絞り

☎ 0573-65-4175

FAX 0573-65-4177

株式会社加藤製作所

担当/営業部 西尾・兼松（アシスタント 吉田）